

半年を堅実、着実にこなした岸田政権

岸田政権が発足してから4日
で半年となった。この間、
新型コロナウイルス感染症は
急拡大したが対策の効果で新
規感染者は減少し、政府はそ
の状況に応じた対策と経済の
両立という難しい舵取りを堅
実に進めている。またロシア
のウクライナ侵略という前代
未聞の暴挙にも西側諸国と歩
調を合わせながら、日本の役
割を果たしてきた。

メディアの世論調査による
と、政権支持率は50%超、
60%程度を維持している。
これは新型コロナ対策も、ウ

合格

クライナ情勢への対応も国民
の支持を得ているためだ。読
売新聞が1〜3日に実施した
世論調査では、岸田内閣の支
持率は59%で、3月の調査
より2ポイントアップした。
政府の新型コロナ対策につい
ては55%が評価し、ウクラ
イナ情勢に対しても岸田首相
が適切に対応していると思っ
た人は58%に達している。こ
の半年で日本が直面した2つ
の課題への対応が国民に評価
されたのだ。特に、新型コロナ
対策については昨年11月
時点で「次の感染拡大に向け
た安心確保のための取組の全
体像（概要）」をまとめ、医
療体制の強化に取り組み、病
床の確保などを実施した。確
かに、年末年始を中心にオミ
クロン株という変異株が流行
したため新規感染者が急増し
たが、第5波当時に医療崩壊
の危機に直面したのと比べると、
安定的な医療体制を維持
できた。また、昨年11月
は「コロナ克服・新時代開拓
のための経済対策」を策定、

計画の予算措置として歳出総
額が36兆円に達する2021
年度補正予算も編成した。
補正予算では新型コロナ対
策のほか、子育て世帯への臨
時特別給付金として、18歳
以下の子どもに10万円を給
付した。これは岸田首相が掲
げた「新しい資本主義」のう
ちの「分配戦略」でもあった
が、もう一つの「成長戦略」
としても、「デジタル田園都
市国家構想」関連の地方創生
交付金を計上するなど、岸田
カラーの本格的な展開となった。

一方外交では、岸田首相は、
政権発足直後の昨年10月5
日の日米首脳電話会談を皮切
りに、各国首脳と電話会談、
テレビ電話会談を立て続けに
実施し、27日にはASEAN
N首脳会議、30日にはG20
ローマサミットにオンライン
で参加。ウクライナ情勢を
巡っては、ロシアがウクライ
ナ国境周辺で軍事力増強の動
きをしていることを受けて、
2022年2月15日にウク
ライナのゼレンスキー大統領
と首脳電話会談を行い、その
後は2月24日のロシアのウ
クライナ侵攻にともない、
28日には同大統領と再び電話
会談し、ロシア制裁措置の強
化とウクライナへの支援措置
の拡大を明らかにするととも
に「日本政府と日本国民の心
はウクライナ国民とともにあ
る」などと伝えた。このよう
に岸田首相は政権発足後から
内政、外交とも着実に成果を
挙げていると言えるだろう。
もちろん、新型コロナの変異
株のような予測できない部分
もある。しかし、それでも医
療体制の維持やワクチン接
種、治療薬の用意などを進めている。
岸田首相は、政権発足半年に
ついて「半年間を振り返り、
大変難しい決断の連続だった
が、新型コロナウィルス対
策、ウクライナ問題、国内経
済再生など課題は山積してい
る。緊張感と危機感を持って
引き続き取り組んでいきたく
い」と語っているが、その難
しい決断が誤りではなかった
ことは確かだろう。